

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度 第 7 回 栃木中央地域会議
開催日時	平成 27 年 12 月 17 日 (木) 18 時 30 分開会～20 時 35 分閉会
開催場所	栃木市役所本庁舎 3 階 正庁
出席者及び欠席者氏名	別記 1 のとおり
事務局職員職氏名	別記 1 のとおり
その他出席者等	別記 1 のとおり
会議事項	別記 2 のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
その他必要事項	なし
会議の経過 (議事の要旨)	別記 3 のとおり

別記 1 出席者及び事務局

○出席者 (委員)

会 長 佐山 正樹	副会長 石河 不砂	委 員 臼井 義雄
委 員 大浦 兼政	委 員 鬼塚 修	委 員 木村 隆夫
委 員 杉山 栄	委 員 村田 弘子	委 員 山口 真右
委 員 渡邊 一浩		

○欠席者 (委員)

委 員 青木 良一	委 員 大波 龍郷	委 員 下田 明範
委 員 鈴木 林彌	委 員 高瀬 淳	委 員 中尾 秀美
委 員 町田 爽起夫	委 員 若林 芳明	

○事務局

【総合政策部】

天海 俊充 (地域まちづくり課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長)
 清水 孝之 (地域まちづくり課長補佐)
 野中 聡 (地域まちづくり課主査)
 福田 英臣 (地域まちづくり課主任)
 山本 晃子 (地域まちづくり課主事)

○その他出席者

【教育委員会事務局】

大出 光一 (文化課長) 佐藤 義美 (文化課長補佐)

別記 2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

佐山会長

3 議 事

(1) 栃木市文化振興計画実施細目（素案）について（意見聴取）

- ・ 栃木地域の部分について意見があれば、事務局まで連絡願いたい。
- ・ 担当課（文化課）において年明けに意見集約を行い、内容に反映させる。

(2) 自主的審議に係る提案書に関する意見書の提出について ※前回から継続審議

- ・ 事務局が作成した意見書の案を提示 → 文面について、いくつか意見あり。
- ・ 事務局で文面を練り直し、佐山会長が確認のうえ、委員の皆様に変更を提示する。
- ・ その後、皆様から意見を募り、事務局で文面を調整して、意見書を完成させる。

(3) まちづくり実働組織について

資料の説明のみを行い、詳しい議論は次回とした。

4 その他

(1) 次回の地域会議について

- ・ 次回開催予定 平成 28 年 1 月 28 日（木） 18 時 30 分～
栃木市役所本庁舎 3 階 正庁

5 閉 会

別記 3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
担当課	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事 (1) 栃木市文化振興計画実施細目（素案）について（意見聴取） 栃木市文化振興計画（平成 27 年 3 月策定）では、策定に当たり各地域協議会等において意見聴取し、「各地域における文化振興の施策」を掲げていますが、今後、市民協働により具体的な各施策を推進していくために、年度ごとに実績を整理し評価を行う必要があります。 そのために実施細目を作成するに当たり、素案の「各地域における文化振興の施策」の部分について地域会議の意見を求めます。</p> <p style="text-align: center;">【素案の該当ページの記載内容を説明】</p>
佐山会長	委員の皆様から何かご意見はございますか。
委員	私が住んでいる町内では、地元のお祭りをを行う際に子ども会育成会を通して、多くの子ども達を呼んでいます。しかし、中学生になると子ども会を抜けてしまう子が増えて、地域で何かやろうとしても地元の中学生との連携が取れなくなってしまいます。子ども達が地域の文化に触れるという観点から、このような課題に対して何か考えを持っていますか。
担当課	<p>中学生になると文化活動から離れがちになってしまうことは、どの地域においても課題となっています。今回の素案の中では、その解決策として「ふるさと学習」について小中学校間の連携を図ることを挙げており、小学生の時の体験学習だけで終わってしまうのではなく、中学生の郷土芸能等の地域での活動に対しては、ボランティア活動と同様に、特色ある活動として評価してもらえるように、中学校へ働きかけていきます。</p> <p>併せて、生涯学習課の「とちぎ未来アシストネット」での地域教育協議会等での検討課題となるよう促していきたいと考えています。</p>
委員	実際に中学生が文化活動に参加するのは難しい面もあると思いますが、こういった事情が通じていない子ども会育成会もありますので、担当課としてその辺をしっかりと伝えていただきたいと思います。

担当課	中学生に神社のお囃子の発表をしてもらうことで、その地域の郷土芸能が続いている地域もあります。中学校には施策の趣旨をしっかりと伝えて協力をお願いしたいと思います。
委員	私の住む地域では中学生に旧城内村の歴史を話したりして、地元の知識を学んでもらう取り組みをしています。一方で、旧栃木城址に関する資料が城内町1丁目の自治会公民館にあるのですが、古文書を整理・読解できる人材がいません。こういった地元の歴史を紐解く活動は、ぜひ継続してやっていく必要があると思います。担当課としての考えをお聞かせ願いたい。
担当課	今回の素案の中では、「資料館等の活用」のページでこの件について触れていて、資料を持っている地元の方と協力して研究していきたいと考えます。
佐山会長	自分の住む地域を知ることは郷土愛を育み、それが文化振興の施策の基本にもなると思います。例えば、旧栃木町のことを詳しく調べている方はいても、市全体のことになるとわからない方が結構多いんです。各地域で連携して、市全体の郷土愛に繋がる子どもの育成に取り組んでもらいたいと思います。
委員	地元のお祭りに中学生が参加している地域でも、通っている中学校が積極的に参加を応援しているわけではなく、教員個人が地元の活動に理解があって協力している感じを受けます。地域の文化に関する教員への教育が必要なのではないでしょうか。
担当課	今回の素案の中では、教員が地域の郷土文化を学習、体験できるような機会を設定することを盛り込んでいます。
委員	子ども達は具体的にどういう郷土芸能をしているのですか。
担当課	各学校の取り組みにもよりますが、多くはお囃子や太鼓のようです。
委員	実績の欄を読むと、小中学校における取り組みに関する記載が多いように思われますが、地域における取り組みはどうなっているのでしょうか。
担当課	素案に載せている実績については、栃木地域の各公民館からの報告に基づいて作成しています。地域における取り組みの例としては、皆川地区の敬老会で子ども達が演奏しているという報告があります。
佐山会長	行政で把握している情報にはやはり限界があります。この素案を読むと、民間や地域で自主的に実施している講座や勉強会がほとんど抜けており、非常に偏っ

	<p>た感じを受けます。例えば、文化の伝承という面では、子ども達に職人さんの技術を体験してもらう活動とか、実際はもっと幅広くやっているはずなのですが、ここで見る限り内容が寂しい印象を受けます。</p> <p>皆様から「この事業も入れてほしい」という意見があれば追記できるとのことですので、ぜひ意見を出していただきたいと思います。</p>
委員	<p>栃木市は歴史が相当ありますから、いわゆる「栃木の匠」のような人を各地区から出してもらったらいんじゃないでしょうか。</p>
担当課	<p>現在、栃木市には文化マイスターと呼ばれる方々がいらっしやって、各自の活動の他に、学校支援ボランティアとして活動されています。</p> <p>【ここで追加資料の説明、来年度以降の推進体制のスケジュールを示す】</p> <p>専門の調査員の調査に基づき、地域会議の区域ごとに栃木市の文化資源一覧表を作成するので、その地域で未来に残したい文化資源 6 個を地域会議で選んでいただきたい。</p>
佐山会長	<p>6 個に絞るのが大変そうですが、文化資源データの蓄積は楽しみです。</p>
委員	<p>調べた文化資源のうち、選ばれた 6 個以外の扱いはどうするのですか。</p>
担当課	<p>調査したものは市のホームページにすべて掲載する予定です。</p>
佐山会長	<p>これは素晴らしい地域財産になりそうです。それでは、素案の内容に関してご意見がある方は事務局を通してお申し出いただくということで、よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。担当課の方はご退席ください。</p> <p>次の議題に移ります。前回から継続審議となっている (2) の自主的審議に係る提案書に関する意見書の提出について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【前回の経過を説明し、意見書の素案を提示】</p> <p>→その後、出席した委員全員が意見を述べ、意見集約を行う。</p>
佐山会長	<p>皆様の意見は大きく 2 つにまとめられると思います。</p> <p>①旧栃木警察署跡地（以下、「跡地」）の利用方針（商業施設と居住系施設を整備）は見直す。そして時間をかけて再度市民を交えて検討する。</p> <p>②跡地の開発業者を募集する手続きを進めるのは仕方ないが、業者の選定に当たっては様々な意見を勘案し、慎重に検討してほしい。</p>

	<p>以上①と②について、皆様の多数決を採りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">【②が多数】</p> <p>それでは、地域会議として②の方針で意見書をまとめるということで、文言の修正等の意見はございますか。</p>
委員	<p>「慎重に検討してほしい」という言葉だけでよいのでしょうか。</p> <p>現行の利用方針（商業施設と居住系施設）に沿って跡地を整備するなら、市外から多くの方に移住してもらおうプロジェクトを成功させる能力のある業者に、責任を持ってやってもらいたいという思いがあります。「完成した施設を最後まで有効に活用してほしい」という気持ちを込めた言葉を盛り込めればと。</p>
佐山会長	<p>それでは、「栃木市の将来にわたって」「施設が市の発展に寄与するような」といった文言を入れてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>前回までは「そもそもこの開発自体を先に進めるのはいかがなものか」という議論もあった中で、跡地の開発業者を募集する要項の中身が明らかになり、個人的には評価をもっと厳正にさせていただきたいという思いがあります。</p> <p>例えば、期待される効果として、「地域住民や周辺地域への影響の波及」といった項目の配点を見直す等の意見は入れられないのでしょうか。</p>
佐山会長	<p>跡地の開発は、リノベーション事業全体のゾーニングの中で位置づけられたものですから、周辺地域への経済的効果の波及は評価の段階で十分に加味されるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>跡地の開発はあくまでも関連事業で、リノベーション事業本体とはまったく関係ないということは忘れないでくださいね。跡地の開発をしないからといって、リノベーション事業が失敗するわけではないんです。</p>
佐山会長	<p>募集要項を読むと、土地を売却する場合にも相当の縛りがありました。これは単に土地を売買するということとは違うわけです。</p> <p>ただし、「跡地の整備に当たり周辺地域への影響に配慮し…」といった表現は必要だと思います。</p>
委員	<p>市として「跡地に商業施設と居住系施設を整備したい」という基本的な考え方が出ているわけだから、これに沿って選定されるんじゃないですか。</p>
委員	<p>ただ、地域会議としては、市の計画を決して肯定しているわけではないんです。</p>

	<p>市で現在進めている内容に不安を感じているから、ちゃんとやってほしいということなんですよ。</p>
委員	<p>意見書はどこへ提出するのですか。</p>
事務局	<p>担当課です。その後、担当課が意見書に対する回答案を作成し、市長の決裁を得たうえで地域会議に回答します。</p>
佐山会長	<p>意見書を提出する時期はどうでしょうか。</p>
委員	<p>次の地域会議（1月下旬）まで待つと、開発業者の募集が始まってしまいます。「栃木中央地域会議は事業の推移に大いに着目している」という意味を込めて、次回の会議より前に提出するのがよいのではないのでしょうか。</p>
佐山会長	<p>それでは早めに出しましょう。1月中旬をめぐりに、次回の会議までに提出できるように、委員の皆様と事務局で何回かやり取りをして意見書を完成させることにしたいと思います。その方向で事務局は調整をお願いします。</p> <p>それでは次の議題に移ります。(3)のまちづくり実働組織について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【実働組織立ち上げのイメージについて、資料に基づき説明】</p>
委員	<p>先ほどの説明を聞くと、栃木中央地域全体を対象にした組織の方が動きやすいということじゃないですか。</p>
事務局	<p>それも1つの案です。最初にすべての活動を包含する実働組織を立ち上げて、その中に部会のようなものを作り、テーマごとに活動することは考えられます。</p>
委員	<p>地域会議で実働組織のあり方を決めたとして、実際の立ち上げは誰が担うのでしょうか。</p>
事務局	<p>まずは、実働組織に参加される団体の方々を集めて説明会を開きます。そこで「地域会議ではこのような意見がありました」と地域会議でまとめた実働組織のあり方を提案して、それを叩き台として立ち上げに向けた議論を始めます。</p>
佐山会長	<p>そのやり方は非常に煩雑じゃないですか。ここにいる委員の皆様がその場に参加していかないと、実働組織を立ち上げるために集まった皆さんの中でまた同じことの繰り返しになりますよ。</p> <p>委員の皆様はすでに何らかの形で実働に取り組んでいるわけですから、皆様の</p>

	共通項を作れば、実体を持った組織を作ることは可能なのではないですか。
委員	実働組織どうしの活動区域が重ならないことが認定条件の1つとなっていることが縛りとなって、立ち上げのイメージがなかなか湧かないのですが。
事務局	テーマに基づき、地域性がなく市内どこでも活動しようというのは、いわゆる市民活動と呼ばれるものです。事務局としては、地域に根ざした活動をしていただくためには、エリアを定めてそこできちっとした組織を立ち上げて、その中で活動していただきたいと考えています。
委員	地域にいくつもある団体をどうやってまとめていくかが難しいですね。
委員	例えば、中央地域全体を巻き込む協議会のような組織を立ち上げて、様々なテーマの活動ができるようにしておいて、そこにいろいろな団体に登録してもらえれば、より多くの補助金を得るチャンスがあるわけですね。
事務局	その実態として、しっかりとした組織があることが必要です。
委員	今まで行ってきた活動を引き続きその組織で行って、広く地域内のすべての方々が参加できるようにPRすれば、その活動に対して補助金がもらえるということですよ。それならば、地域全体で1つの組織を立ち上げたほうがいいんじゃないありませんか。
佐山会長	もし地域を分けるとするなら、どのような分け方が考えられますか。
事務局	一例として、毎年実施している「まちづくり懇談会ふれあいトーク」と同じように、いくつかの自治会連合会を組み合わせると3つに分ける方法が考えられます。
佐山会長	地域を分けてしまうと地域の主張は明確に出ますが、逆に補助金のことを考えると大変だなという気がします。一方で、中央地域全体で作るのもなかなか大変そうです。 地域の活力を掘り起こすため、いかに有効な組織を作るか。興味のある一部の人が集まる組織では良くないわけですよ。ただ、この分断された社会で、地域の皆さんが結束できるような1つの方向性を出すのはなかなか難しい。
委員	まずはテーマを話し合うのが先ではないですか。地域をまとめたからといってテーマは出てこないような気がします。
佐山会長	これからの将来を担う若い世代にどういう球を投げると、参加してくれた人々

事務局	<p>が面白くて、しかも効果的なことができるか。これからの市にとって、何に取り組めば有意義な活動となるのか。広い視座から、次回も議論していきましょう。</p> <p>ありがとうございました。以上で本日の協議事項は終了いたしました。</p> <p>この後の進行は事務局をお願いします。</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none">・ 次回開催予定 平成 28 年 1 月 28 日（木） 18 時 30 分～ 栃木市役所本庁舎 3 階 正庁 <p>5 閉会</p>
-----	--